

みんなの奉仕でまちをきれいに

～春の登別クリーン作戦～

4月17日(日)、市内一斉に『春の登別クリーン作戦』が行われ、早朝から参加した市民は、春の日差しを受けながら、ボランティアでゴミ拾いに当たり、心地よい汗を流しました。

この行事は、清潔で快適な美しいまち登別を実現しようとして、登別市衛生団体連合会が市と登別市連合町内会に協力を呼び掛け、春と秋の年2回行っているものです。

今回は、町内会等から約3,500人が参加。参加者は、午前8時から約1時間、道路沿いや河川敷、公園や広場などから、空き缶やたばこの吸い殻、紙くずなどを、燃やせるごみ、燃やせないごみ、瓶・缶ごとに分別しながら拾い集めたほか、自転車などの大型ごみも回収。雪解けが進んでごみが目立ち始めていただけに、市民の奉仕でまち並みはきれいになりました。

この日、クリンクルセンターに集められたごみは、燃やせないごみ4,890*_{kg}（昨年5,830*_{kg}）、放置自転車97台（昨年148台）と昨年よりも減少していますが、ごみの量を考えるとモラルが問われる結果となりました。



楽しかったよ、こけしの絵付け ～こけし絵付け教室～



4月14日(木)、富岸小学校でこけし絵付け教室が開催されました。

この教室は、姉妹都市である宮城県白石市の文化を理解し、友好を深めながら地域の高齢者の皆さんと世代間交流を図ろうと、平成元年から小学校持ち回りで開催されています。

今年は、講師に北海道初の道産子こけし工人佐藤佑一さん（江別市在住）を迎え、富岸小学校の6年生96人と地域の高齢者15人がこけしの絵付けに挑戦。最初に佐藤さんから、こけしの種類や顔、髪などの描きかたの説明を受け、絵付けを開始。子どもたちは、とまどいながらも夢中になって、こけしの原木に筆を入れていました。

この日のこけし作品は、5月3日(火)から5日(木)まで白石市で開催される全日本こけしコンクールの会場で展示されます。

シーズン到来、初ラウンド ～岡志別の森運動公園パークゴルフ場オープン～

4月16日(水)、岡志別の森運動公園パークゴルフ場がオープンしました。

同パークゴルフ場のオープンは、5月1日を予定していましたが、雪解けが進み、利用可能な状況となったため、この日のオープンとなりました。

この日は、好天にも恵まれ、オープンを待ちわびていた市民ら146人が、約半年ぶりのプレーを楽しみました。

同パークゴルフ場のコースは、延長906*_m、18ホール、パー66。昨年は、延べ28,061人が利用しました。

利用時間

5月	7時～18時
6～9月	7時～19時
10月	7時～17時

